資料２

2019 年 12 月 20 日

岸和田市産業教育審議会 資料 2

会長　藤田和史

産業高校教育審議会答申案の方向性（第２版）

Ⅰ 全日制課程

1. 学科再編に関する課題および考慮すべき制約

〇解決すべき課題

入試志望倍率の学科間不均衡

入試制度による不本意入学者の存在

個性に応じた多様な教育・進路

基礎学力の定着

〇維持すべき長所

特色ある教育（商品開発部など）

進路の多様な選択肢（就職・進学）

多様な自己実現（資格取得・部活）

◇考慮すべき制約

施設・設備上の制約（PC 等の台数）

教職員数の制約（生徒指導上の制約）

教育課程上の制約（専門科目の履修，資格取得の学習）

入試制度の制約（前後期制・特選の制度的課題，実施時期）

◆前回提案の課題点

不本意入学の本質的解消が困難（入試制度変更が必要）

学科間不均衡がプログラム間不均衡に置換

複線的なプログラム展開に対応できる教職員配置が困難

生徒ニーズの不均衡によるカリキュラム未達の可能性（インターンシップ等）

進路決定までの学習時間・資格取得時期の確保

↓

◎高校ヒアリングに基づく前回との変更点

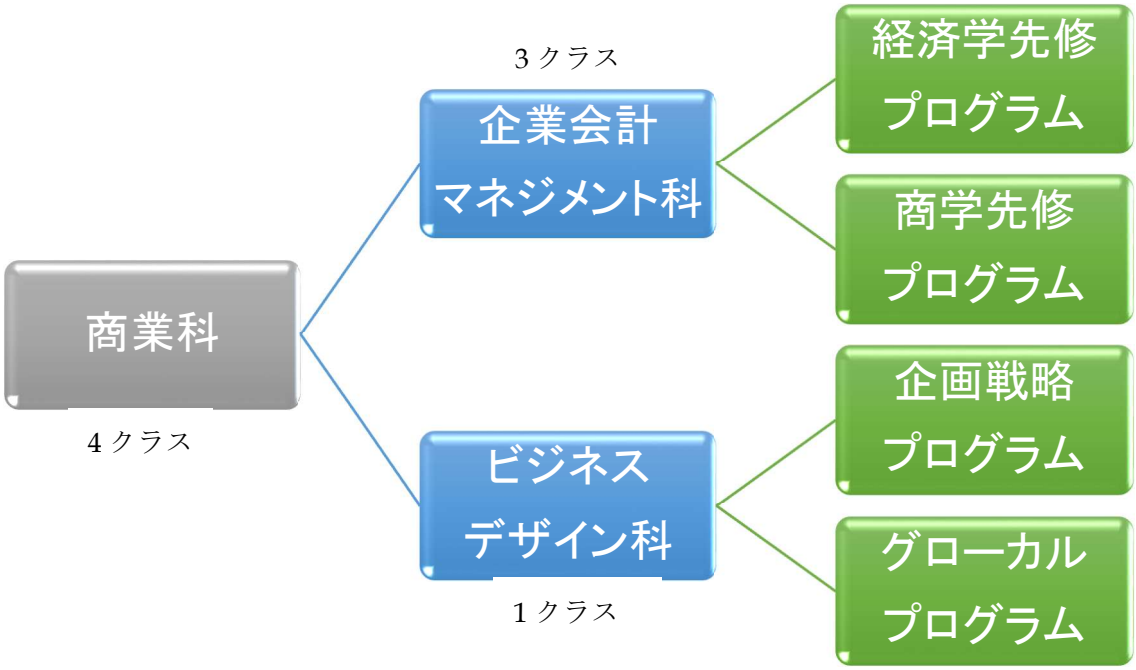
入試制度変更を伴った新学科分離・設置が必要

新学科へ既存の長所を活かしたカリキュラムの設定（商品開発・グローカルビジネス）

学科制による定員管理を通じた指導機会の確保の必要性（インターンシップ，域学連携）

資格などを前提とした進路選択の実現の担保（進学・就職とも）

2. 学科・学科内コース・プログラム案



1. 商業科名称の変更，2 学科への再編
2. 企業会計・マネジメント科（仮称）…旧商業科の継承，オーソドックスな簿記会計の知識習得
   資格取得の目的別に経済科目・商学科目を先行履修
3. ビジネスデザイン科（仮称）…商品開発部の経験を活かした「企画戦略プログラム」
   …インバウンドのニーズを考慮した「グローカルプログラム」

4. 将来的には，両学科 2 クラス体制を想定

II 定時制課程

1. 課程再編に関する課題

〇解決すべき課題

入試志望倍率の低迷・定員充足

多国籍化・多言語化，高齢化等への対応

ニーズの多様化

〇維持すべき長所

多様な学びの実現（勤労学生・再入学等）

進路選択の柔軟性（就職・進学）

多様な自己実現（資格取得・部活）

◎前回提案からの変更

商業科のニーズの多様化

多言語・多国籍化にともなう一般課程の充実

リカレントの充実・強化（資格取得など）

2. 学科･学科内コース･プログラム案

1. 商業科課程から総合科への移行，2 コース制へ
2. 企業会計コースにリカレント教育機能を付加，資格取得やスキルアップを目指す受講者を受け入れ
3. 多言語化への対応として，スクールカウンセラーなどの配置（ボランティア対応も含む）

III その他記載すべき事項

- DP/CP および AP の制定
- FD・SD の実施